

活かす通信

2021年11月 (172号)

<http://www.toushi-club.com>

★★

巻頭言

元時事通信記者 篠田憲明

「人口減社会への処方箋」を最大争点にせよ—31日投開票

★★

令和初の第49回衆議院選挙(総選挙)が19日公示され、20日から期日前投票も始まった。今月31日の投開票に向けて定数465(小選挙区289、比例区176)をめぐる選挙戦が展開されている。今回の争点はコロナ禍克服の経済対策やアベノミクスで拡大した貧富の差是正、選択的夫婦別姓の導入やLGBT理解増進などジェンダーフリー社会の多様性増進とされる。しかし、筆者は今回が「未来選択選挙」(岸田文雄首相)とするならば、世界で最初に人口減社会に突入したわが国が「21世紀最大の人類の課題」であるこの「人口減社会への処方箋」を与野党が有権者の前に出して戦うべきだと思うのだが。

菅義偉前首相が自民党総裁選不出馬を宣言して行われた自民党総裁選挙で岸田文雄氏が河野太郎、高市早苗、野田聖子氏らを破り自民党総裁に当選したのが、9月29日。その後、臨時国会が召集され今月4日に衆参両院で第100代の内閣総理大臣に指名され、8日に所信表明演説。11日からの代表質問の後14日に衆議院を解散したのである。今月末の選挙結果次第では自民党が負ければ岸田首相は退陣を余儀なくされるため、憲政史上最も短命の内閣総理大臣になる恐れもある。

では選挙情勢はどうか?岸田内閣への支持率は、辞任前の菅内閣よりは上昇したものの、最近では2008年の麻生内閣誕生時に次ぐ低支持率となっている。つまり期待していた“ご祝儀相場”はないのである。しかも4年前の反省から野党側は約220小選挙区に統一候補を擁立する。自民党の選対関係者は「統一候補を組んでも1+1=2にはならないが、1.5位にはなる。野党協力が進むという前提なら30議席減は仕方ない」と余裕があるが、今回は自民党にお灸を据えようとの空気がある。20%位の数がそうすると、 $1.5+0.2=1.7$ であり、自民党にとっては大きな脅威だ。30議席減より大きな減少も有り得る。「気を付けよう。暗い夜道と3回生」と麻生副総裁はざれ歌を披露したが笑えない。それでも自民党が過半数の233を割り込むとか、与野党逆転にはなりそうにない。

今回は与野党とも「政権選択」を声高に喧伝しているが、筆者は寧ろ「少子高齢化対策—人口減社会への対応」を積極的に出してもらいたかった。世界は人口の急増で自然が破壊され、資源競争に突入した結果、地球温暖化は加速しており、ひいては新型コロナウイルスを代表する新規感染症が広がるペースが速くなっている気がしてならない。ジェンダー平等は人類が持続することが前提の議論。決して軽視している訳ではないし人類は豊かさを求めるのは仕方がない。野放図に許していけばどうなる。人口のピークは2050年前とされる。(憲)

★★

勝池レポート アジア資産運用アドバイザー 勝池和夫

「中国恒大集団の経営危機に思う」

★★

中国不動産大手の中国恒大集団の債務危機が世界の株式市場を揺らしています。30兆円を超えるとされる同集団の債務がデフォルトに陥り、それが中国バブル崩壊の引き金になるのか、世界を巻き込む中国版リーマンショックに発展するのか、この難題に対する中国政府の出方が注目されています。

この問題を楽観的に捉えるのは難しいですが、一つ言えることは、日本のエコノミストや中国専門家などの中国経済に関する見通しは、長きに亘りほとんどすべて間違っていたということです。彼らが声高に叫び続けたバブル崩壊も人民元の急落もシャドバンキング問題も、現在まで深刻化はしませんでした。

それどころか、そんな悲観的な意見が大勢を占める中、中国経済は誰もの予想に反して2010年に日本経済を追い越し、現在は日本の3倍になるまでに発展しました。そして昨今では、英国の民間調査機関が中国経済は2028年にはアメリカ経済をも上回ると予測するまでに至っています。

極めて重要な中国経済の見通しが、このように大きく外れた要因を一切検証しないまま、今回の恒大集団問題を「それ見たことか」と言わんばかりに無反省に、再び悲観的に捲し立てる識者やメディアを私は全く信用していません。

中国経済は鄧小平の「先富論」が大発展の始まりでした。しかしそれは行きつくところまで行って、大きな格差や環境破壊を残しました。不動産の高騰ももはや放置はできません。習近平の「共同富裕」を目指した政策は、確かに不動産企業の経営難を引き起こし、それに電力不足も相まって中国経済は短期的に減速傾向を強めると予想されます。しかし、それは中国という国を長い目で捉えた場合、社会の安定のために避けて通れない苦肉の策なのかも知れません。

今月 8 日の日経に、中国経済の「グリーンテック」についてのコラムがありました。中国の不動産主導の成長から、グリーンテクノロジーに頼った成長への移行の可能性についての英 FT のグローバル・チャイナ・エディターの意見です。「もし中国がグリーン目標の一部でも達成すれば、世界を驚かせるし、地球を救うことになるかもしれない。」と結んでいます。今回の不動産会社の経営問題の背後には、このような意外な中国の長期的な戦略があるとも思えます。

私は以前に中国企業の調査で西安（昔の長安）を訪れた時、面白い言葉を聞きました。「中国の 50 年の歴史を知りたいければ上海に行け。500 年だったら北京に行け。5000 年を知りたいければ西安に行け」。とても示唆に富んだ言葉です。習近平の生まれは西安が所在する陝西省です。ひょっとしたら、現政権の様々な規制の裏には、中国の 5000 年を踏まえた壮大なグラウンドデザインがあるのかもしれないと感じています。短期的な狭い視点では、見誤りやすい国のようにです。

★★

ムッシュ望月の映画ランキング+相場展望

映画は世につれ、世は映画につれ、世相を反映する相場

★★

1, 映画：アカデミー賞しゅえん候補は古田新太か???

9 月には 12 本の映画を観ました、通算では 108 本となり、年間の目標まであと一息。9 月で印象に残った映画は、テレビの連続ドラマでお馴染みの「科捜研の女」、故三浦春馬が主演の戦前の原子爆弾を開発の現場を描く「太陽の子」、人の記憶に入り事件を解決する SF サスペンス「レミニセンス」、娘を救うために奔走する中で直面する父親「マイダディ」、娘の自動車事故死から父親の心を取り戻し奔走するが、その過程で知る娘の性癖、その父親役を演じる古田新太、アカデミー賞候補に挙げたい程の迫真の演技「空白」。次は戦後の企業事件として多くの人の記憶に残る水俣病を扱った「MINAMATA」である。一押しは、私がアカデミー賞候補入りに押す「空白」、松坂桃李も好演。さて 10 月のお勧めはフランス映画「ONODA 一万夜を超えて」、フィリピン・ルパン島で終戦を知らずに生き延びた小野田少尉、彼にとって任務は絶対であった。過酷なジャングル生活で仲間が次々倒れ、一人援軍を信じ生き延びる。この小野田少尉の精神・魂をフランス人の立場からみた良作。お楽しみ下さい。

2, 相場展望：総選挙の先に見える未来は

2022年からは「五黄の寅」が始まる。まさに激動の時代がスタートする。株式、金（ゴールド）、債券、商品など全ての相場商品に目配りをするのが寛容である。短期的には物色の流れを見るかである。言うまでもなく銘柄物色は、時代性、材料性、罫線（チャート）で判断することが常識である。平時はこの3つを平等に置くことである。しかし、有事の時は、この3つのうちで重きを置く軸足を柔軟に変えることである。国内ハイテク株が長期金利に一服、円安トレンドで息を吹き返した感がある。しかし、その強気予想の前に漂う不安の影。円安も1ドル＝114円まで進むと懸念材料も浮上してきている。原油高などの輸入物価高騰に伴う円安が、コロナからの経済再生を妨げるとの見方だ。国際商品相場の高騰で輸入価格が上昇し輸出価格の上昇を大幅に上回り、日本企業の収益を圧迫している。され衆議院選挙ですが、1960年以降の選挙の解散から投開票日までの勝率は16回とも上昇と縁起が良い。平均上昇率は4%、最高は12%の麻生政権、第二位は野田政権と2人とも短期政権というのは不思議なものである。10月第1週と第2週と外国人投資家は連続で4000億円以上の買い越しをしている、9月の下落局面で2週連続で3000億円以上を買い越した時とは投資姿勢が変化してきたと見てよい。上昇相場は不安の中で芽生える。相場格言より、鼠繁栄、丑躓き、寅千里を走る。

★★

11月のイベント＋お知らせ

★★

- 11月05日（金）：17：00～ラルゴ投資クラブ、イカス事務所
 - 11月09日（火）：16：00～イカス投資塾（昼間）、イカス事務所
 - 11月10日（水）：15：00～花咲投資クラブ、イカス事務所
 - 11月11日（木）：13：30～日比谷会投資クラブ、イカス事務所
 - 11月16日（火）：18：30～イカス投資塾（夜間）、イカス事務所
 - 11月19日（金）：14：00～楽々投資クラブ、リモート
 - 11月20日（土）：15：00～スペリオール投資クラブ、イカス事務所
 - 11月25日（木）：15：00～東京3E投資クラブ、リモート
 - 11月30日（火）：20：00～アマルフィ投資クラブ、リモート
- イカス投資塾（昼間・夜間）等の参加者をお待ちしています。

ICAS特別イベント：

- 11月17日（水）：14：00～サロン・ド・知久、イカス事務所
講師：川副真大氏（英語コミュニケーション事業部責任者）
「英会話から英語コミュニケーション、ロジックで話せる」
- 12月02日（木）：17：00～イカス望年会、外国特派員協会

「いよいよ始まるインド経済の黄金時代」シリコンバレーからデカンタ高原へ
アジアコンサルタント 勝池和夫氏

☆You Tube「ジャズ歌手の株式投資大作戦」MISSION 1～12 配信中！！

☆You Tube「ムッシュ望月のこれが注目株だ」毎月2回配信

<https://youtu.be/sal2oyMxie4>

★★

事務局からご案内

★★

☆िकास投資塾の参加費は1回3000円で、昼間講座（毎月第2火曜日午後4時から2時間）と夜間講座（毎月第3火曜日午後6時30分から2時間）があります。是非ご参加ください！！個別特別相談は1回1時間1万円。

☆投資クラブ入会希望の方は、info@toushi-club.com宛にご連絡ください。

☆当メルマガの配信登録、アドレス変更、配信解除連絡はホームページからお願い致します。
www.toushi-club.com/fmerumaga.htm

☆具体的な銘柄をご希望の場合は週刊有料メルマガをお申込みください。

週刊有料メルマガ：年間費用24,000円、毎月日曜日配信です。

cgi.toushi-club.com/mmoushikomi.htm

★★

िकास通信発行人：特定非営利活動法人イカス www.toushi-club.com

*当メールマガジンについてのご意見は以下のメールにお願いします

メール：staff@toushi-club.com

☎：03-3432-5859 FAX:03-3432-5869

発行責任者：木下宇一郎

★★